

★本記事の読み上げ動画を作成しました!

忙しく記事を読む時間がない方でも、耳を傾けていただくだけで内容を把握することができるよう、本記事を読み上げた動画を作成しました。移動時間やスキマ時間などにぜひご活用ください!
動画はこちら→<https://youtu.be/E79jgW5TWil>

過去の
動画は
こちら

連載

★学校運動部活動の地域展開に取り組むクラブ★

認定NPO法人日本スポーツアカデミー 茨城県つくば市

学校運動部活動をめぐっては、少子化による生徒の減少、それに伴う教員数の減少、専門的指導力を持つ教員の不足等により、生徒のニーズに応じた部活動自体が成り立たなくなる現状があります。

文部科学省では、令和5(2023)年から令和7(2025)年までを「改革推進期間」と位置づけ、休日の部活動について、合同部活動や部活動指導員の配置により地域と連携することや、学校外の多様な地域団体が主体となる地域クラブ活動へ移行することについて、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現をめざすよう各自治体に求めており、総合型クラブにおいても学校運動部活動との連携が期待されています。

そこで今回は、学校運動部活動の地域展開に取り組むクラブを紹介します。

1

クラブ概要

日本スポーツアカデミー(以下、アカデミー)は、旧法人名を「つくばスポーツアカデミー」とし、設立しました。設立のきっかけは陸上競技部を受け持ちたいという陸上競技経験のある教員がつくば市立桜中学校に異動してきたことを受けて、スポーツによる地域社会に波及する好循環を学校という枠から地域社会に生かそうと考えたからです。

平成25(2013)年に設立されたアカデミーは、現在およそ1,000名の会員を有していますが、設立時には行政などの支援を受けず、ゼロからスタートした組織です。法人としての活動拡大に伴い、予算規模も1億円近くまで成長し、常勤スタッフ11名が元気に仕事をしています。

アカデミーの事業は大きく分けて、

スポーツ事業…競技性のある運動カテゴリー(バドミントン、陸上競技など)

ウェルネス事業…競技性のない運動カテゴリー

放課後事業…将来の運動実施率向上を考え子どもたちに多種多様な運動体験を主眼に、

放課後児童に関する地域課題の解決を目的としたもの

の三本柱で構成されています。

また、活動の目的は、地域社会の運動実施率向上と、それに併せた人間の健全な育成です。



幅広い年齢層に対応したウェルネス事業



子どもたちの運動体験と放課後児童の地域課題の解決をめざした放課後事業

2

取り組み内容

地域に根ざしたスポーツ活動による好循環

前述のとおり、アカデミーは中学校の部活動から生まれた法人です。近隣地域に素晴らしい影響を与えた部活動をモデルとして、活動を行っています。

そのモデルとしている部活動はこのようなかたちで好循環を生み出しました。

まず、初めに子どもたちの活動に対しての「やるときはやる」といった意識の改革を行いました。すると、その意識に比例するように集団としての結果が出始めました。さらにそれを実感した保護者や顧問の先生がそれぞれの立場でバックアップを開始し、校長をはじめとした学校との協力を深めました。やがて全国大会に毎年行くようになると、近隣地域にて自発的に遠方の大会の活動費の一部を負担してくれるようになるなど、スポーツが部活という小さな枠ではなく地域を巻き込んで成長を遂げたのです。

このように、部活動が参加者だけでなく地域社会にもよい影響を与えてきた点を、地域展開によって可能な限り残していきたいと考え、事業化しています。

地域展開のステップと少年団化

まず地域展開当初は、当アカデミーの職員が学校部活動に外部指導員として参加し、先生方の業務負担を軽減しました。また、※DCAA(洞峰地区文化スポーツ推進協会)にも当アカデミーの職員が協力しました。そのうえで次に進めたのが、部活動の少年団化です。複数の団体が絡むDCAAのような大きな組織は、その設立や維持管理に相応の労力を必要とします。これは総合型クラブの運営と照らし合わせるとイメージしやすいでしょう。一方、小規模な組織であれば、少年団という優れたモデルがあります。そのため、部活動の顧問や外部指導員と協力しながら少年団化を進めています。

※DCAAとは「DOHO Cultural & Athletics Academy」の略。洞峰学園つくば市立谷田部東中学校の部活動を中心に、洞峰学園地域とともに更なる発展を遂げるために地域住民で設立された組織。部活動ごとに「DCAAクラブ」を設置し、外部から専門的な指導者を招き部活動実施日以外の時間に各クラブごとに1回2時間、年間30回程度活動を行っている。

<https://dcaa-club.com/aboutdcaa/>

事業の独自性、少年団と競技志向の融合をめざして

総合型クラブの集まりでは、クラブと少年団を分けて考えることが多いですが、アカデミーでは中学生にスポーツの場を提供するかたちの一つとしてとらえ、法人の枠組みに組み込んでいます。

また、少年団はコミュニティとしての要素が強い一方で、「全国大会出場」をめざすような競技志向の団体へのアプローチも行っています。SAN.AC(アスリートコース)というプログラムを設け、車で片道90分くらいまで範囲を広げ、広域を対象に活動しています。このように複数の中学校と連携し、熱意ある先生方が継続して活躍できる環境づくりを進めています。

見方によっては、法人規模に比べ主体的な活動が少ないように映るかもしれませんが、実はそれが私たちの方針です。主体は国と、中学校の部活動そのものです。アカデミーは、その主体が考えたことを実現するためのツールとして機能することをめざし、日々研鑽^{さん}しています。部活動がもたらしてきたよい点を次世代に引き継ぐため、さまざまな方法を提示し、選択や実行のサポートに注力しています。

指導員は募集してもなかなか集まりませんが、地域内には適任者がいます。そのため、公募よりも部活動のOBOGや関係者を発掘して依頼するほうが確実です。活動を継続していると、中学生がやがて大人になり、指導者になるケースも増えます。アルバイト収入にもなるため喜ばれることが多いです。このように長期的視点を持つことが大切だと考えています。



桜RACING CLUB(桜RC)



活動中の秀峰陸上クラブ

3 事業拡大と組織成長の好循環が生まれることで、社会貢献活動につながる

このように休日の部活動を少年団の組織内に組み込むことで、少年団にも多くのメリットが生まれます。課題としては、会費設定における整合性がありました。

少年団化に限らず、取り組みの効果が見え始めると、自然と相談件数が増えてくると思います。学校から少年団化の相談がくるようになり、それを実現させることも一つですが、法人の枠組みのなかに少年団を入れてあるので少年団の会員は法人の会員となります。このことが、法人にとっても会員獲得の機会となり組織拡大につながります。

また、組織にスタッフが増えると、それぞれのスタッフが持っているスキルを生かす機会が増え、それを基に新たなプログラムをつくり会員が増えると法人の予算規模は大きくなります。そうすることで雇用を可能とする予算ができ、さらに事業規模は大きくなります。

私たちはNPO法人であるので地域社会が必要としている部分を行う社会サービスが法人としてやるべきことであり、地域社会に対して雇用を創出することは一般企業と同様に産業として社会に貢献することにもなります。

加えて、総合型クラブの持続可能なかたちの一つとしてマネタイズを法人経営の核と考えるクラブとして活動することで、資金、人材、後継者不足といった課題解決の一助となると考えます。

4

日々の活動の核となる「地道な地域活動」と有料化への理解促進と付加価値の提供をめざして

一丁目一番地は、地道に地域に根ざした活動を続けることです。部活動に関しては、これまで無料で行っていた活動が有料化することへの理解を得るために、部活動の仕組みが以前と変わってきたことを活動の場にいる保護者等に話し、実際に理解度が深まっていると感じています。

そのうえで、指導の質、練習場所の確保等、払った金額以上の価値を感じてもらうことが、持続可能のカギとなります。教育的意味合いはもちろん、将来使えるライフスキルなど単にスポーツだけでない知識や経験といった付加価値をつけられるかといったことが重要だと考えています。

また、既存の仕組みをモデル化し、再現性のあるシステムとして構築していきます。

認定NPO法人日本スポーツアカデミー 理事長 石渡琢磨

クラブプロフィール

設立年月日 平成25(2013)年9月2日

所在地 茨城県つくば市竹園三丁目18番地2 E棟2階201番

運営 利用会員数:1,000名(令和7年7月現在)、予算規模8,000万円(令和6年度)

特徴 To the next generation!

「スポーツを通して健全で明るい地域社会の持続可能な枠組み作りを行う」

スポーツは「仕事や義務でない気晴らしをする、楽しむ」というのが語源です。

日本スポーツアカデミーでは法人としての「スポーツの定義」を掲げ活動しています。

- スポーツは「健康」という言葉に置き換えることができる
健康とは心身ともにと考える
- スポーツはともに生きていく仲間ができる
- スポーツは日常のカテゴリーを超えた人のつながりができる
- スポーツは社会でのコミュニケーションの方法を知ることができる

連絡先 〒305-0032 住所:茨城県つくば市竹園三丁目18番地2 E棟2階201番

TEL:029-886-3227 FAX:029-896-3649

HP:<https://sportsacademynippon.jp/>

E-mail:info@sportsacademynippon.jp

